

世羅町人口ビジョン

本町では、今後も人口の減少が続き、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計では、

令和42年(2060年) ▶▶ 6,362人(推計)

ポイント

今後、転出超過が続くと考えられる年齢層の転出抑制

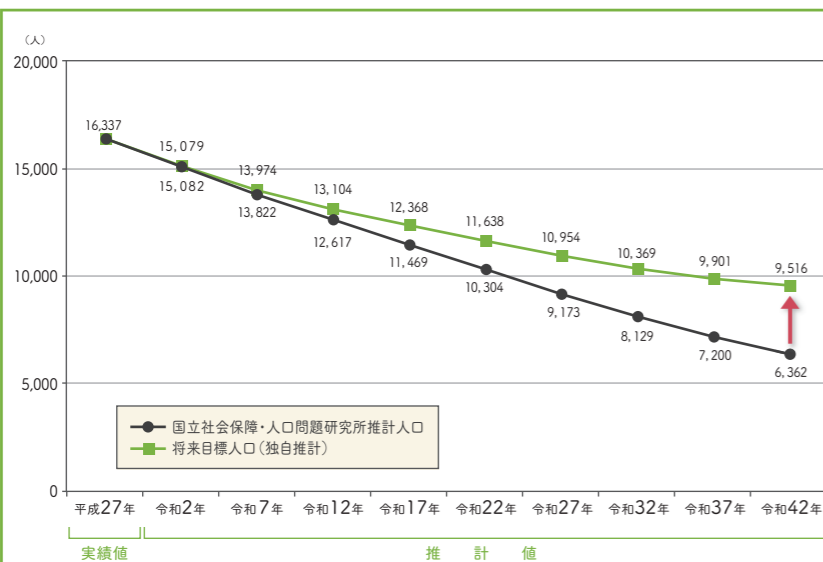
課題と将来の方向

- ◆ 若い世代を中心に、安心して働ける環境の実現
- ◆ 若い世代の移住定住の推進
- ◆ 結婚、出産、子育てしやすい環境の整備
- ◆ 安心して暮らすことができる環境の確保
- ◆ 多様な人材の活躍を推進する
- ◆ 新しい時代の流れを力にする

目標

令和42年(2060年) ▶▶ 人口を 9,500人

世羅町将来展望グラフ



世羅町第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略



世羅町イメージキャラクター「せら坊」

「いつまでも住み続けたい日本一のふるさと」
ひとと、歴史と、未来をつなぐ、せらのまちづくり

将来像

基本目標Ⅰ 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事場を創出する

創業希望者や創業後間もない人たちの円滑な事業展開を促進するため、継続的な支援を行います。また、地域産業の活性化を図るため、商工会や金融機関と連携し地元事業者の支援や中小企業・小規模事業者の事業継承を促進します。雇用機会の創出にも努めます。あわせて、本町の基幹産業である農業などの将来の世羅町を担う人材の育成や観光振興に力を入れることで、持続可能な地域の働く場の創出に努めます。

基本目標Ⅱ 世羅町の魅力を活かし、若い世代を中心とした移住・定住を推進する

移住定住促進を図るため、総合的な相談窓口の体制により、住まい・仕事などニーズに応じた情報を提供します。また、空き家バンク制度などを活用した移住定住支援や住宅の取得に向けた支援を行い、住まいの確保を図ります。あわせて、地域外の人材を積極的に受け入れ、関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。

基本目標Ⅲ 結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を整備する

結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組みます。

基本目標Ⅳ 質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する

住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、高速大容量の通信網を整備し、ICTによる地域課題解決・地域活性化の実現を図ります。また、交通ネットワーク及び医療体制の充実を図ります。さらに、町民が主体となった地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを支援することで、協働のまちづくりを推進します。



基本目標

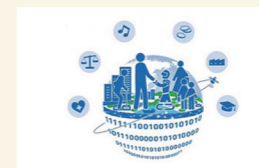
目標達成のための新たな視点

横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する

- ① 誰もが居場所と役割を持ち活躍できるまちをめざします。

横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする

- ① 地域における Society5.0 など未来技術の活用を強力に推進します。
- ② SDGs の実現など持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざします。



Society5.0 とは

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新しい社会。



SDGs (Sustainable Development Goals) とは

平成27年(2015年)9月の国連サミットにおいて採択された、国際社会全体の持続可能な開発目標。